

予算常任委員会（全体会）

令和7年9月29日（月曜日）午後1時27分開会

出席委員（24名）

委員長	小島耕一
副委員長	田村正宏
委員	松野真弓
委員	小出浩美
委員	堤正明
委員	林美幸
委員	山形紀弘
委員	星野健二
委員	星宏子
委員	相馬剛
委員	松田寛人
委員	金子哲也

副委員長	佐藤一則
委員	戸張靖久
委員	赤塚茂昭
委員	矢島秀浩
委員	三本木直人
委員	室井孝幸
委員	森本彰伸
委員	平山武
委員	齊藤誠之
委員	大野恭男
委員	中村芳隆
委員	齋藤寿一

欠席委員（なし）

出席議会事務局職員

議会事務局長	平井克巳
議事課長補佐 兼庶務係長	小高久美
議事課主査 （係長級）	石田篤志
議事課主任	高橋達彦

議事課長	岩波ひろみ
議事調査係長	長岡栄治
議事課主査	黒沢大輔

議事日程

1. 開会
2. 審査事項

(1)議案第60号 令和7年度那須塩原市一般会計補正予算（第6号）

(2)議案第61号 令和7年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

- (3)議案第 6 2 号 令和 7 年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）
- (4)議案第 6 3 号 令和 7 年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）
- (5)議案第 6 4 号 令和 7 年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第 1 号）
- (6)議案第 6 5 号 令和 7 年度那須塩原市墓地事業特会補正予算（第 1 号）
- (7)議案第 6 6 号 令和 7 年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第 2 号）
- (8)議案第 6 7 号 令和 7 年度那須塩原市下水道事業会計補正予算（第 2 号）

【委員長及び 2 副委員長報告・質疑・討論・採決】

3. その他

4. 閉 会

開会 午後 1時27分

◎開会の宣告

○小島委員長 それでは、ただいまから予算常任委員会全体会を開会いたします。

ただいまの出席委員は24名であります。

さて、当委員会に付託された案件については、去る9月17日から19日まで各分科会において慎重に審査されております。本日は、その審査結果を基に進めてまいります。

委員各位におかれましては、慎重なる審査とともに円滑な進行への御協力をお願い申し上げます。

それでは、座って進行させていただきます。

—————◇—————

◎審査事項

○小島委員長 次第2の審査事項に入ります。

さて、本定例会議において当委員会に付託された案件は、議案第60号から議案第67号までの令和7年度補正予算案件8件でございます。

ここで本日の委員会の進め方について御説明申し上げます。

まず、当委員会に付託されている議案につきまして、各分科会における審査結果の報告を行います。報告が終わりましたら、議案ごとに質疑、討論、採決と進めてまいりたいと思います。

初めに、予算常任委員会（第一分科会）における審査結果について、私から報告いたします。

予算常任委員会（第一分科会）の審査の経過と結果について御報告いたします。

令和7年9月那須塩原市議会定例会議において当分科会で審査した案件は、補正予算案件3件であります。

これら案件を審査するため、9月17日から19日、

第1委員会室において、委員8名全員出席の下、所管の部長、課長等関係職員の出席を求め、慎重に審査を行いました。

以下は、その審査の経過と結果であります。報告に当たりましては、各委員から出された質疑等を中心に申し上げます。

議案第60号 令和7年度那須塩原市一般会計補正予算（第6号）について申し上げます。

まず、企画部の審査について申し上げます。

企画政策課の審査において、委員から、補正予算執行計画書7ページ、シティブランディング事業費について、デザイントータルマネジメントの業務委託として132万円を計上するとのことだが、委託先と委託の内容を伺うとの質疑があり、執行部から、委託先はまだ決まっていないが、博報堂を含め2社ぐらいを予定している。内容は、広告物のひな型の作成やデザインの研修と職員に対してのロゴの使い方のアドバイスをいただくことを検討しているとの答弁がありました。

次に、総務部の審査について申し上げます。

総務課の審査において、委員から、補正予算執行計画書の6ページ、給与職員厚生費について補正予算額501万9,000円は、労働保険料の増額とのことだが、年度途中でこんなにも保険料を増額する理由を伺うとの質疑があり、執行部から、労働保険料については非常に算出が難しく、当初予算要求の時点では、人事院勧告が明確でない中での給料ベースを基にした算出である。人事院勧告に基づく給与の増額改定に伴い、給与額から算出する労働保険料も増額となったことから、予算に不足を生じてしまったため補正予算に計上したとの答弁がありました。

次に、財政課の審査において、委員から、補正予算執行計画書16ページ、予備費について、冬季の除雪など災害等緊急事態に対応する財源確保の

ために今回の9月補正で発生する剰余金を活用し、9,703万3,000円を予備費に計上するとのことだが、この積算根拠を伺うとの質疑があり、執行部から、冬季の除雪の積算は、過去のデータを参考に算出している。実際は3,000万から7,000万円ほどが過去の実績であり、毎年9月補正で剰余金を活用して予備費を計上しているとの答弁がありました。

次に、契約検査課の審査において、委員から質疑はありませんでした。

次に、危機管理課の審査において、委員から、補正予算執行計画書2ページ、物品売払収入について3支団で11台のポンプ車748万円の動産売払収入を得られたとのことだが、詳細を伺うとの質疑があり、執行部から、11台を1台ずつ入札し、参加した業者は8業者で、全て県外の業者である。金額は52万3,000円から115万円の間で落札され、合計が748万円になったとの答弁がありました。

また、同じ委員から、購入価格は1台2,000万円からする。最低の入札価格は走行距離も勘案して決めているのか詳細を伺うとの質疑があり、執行部から、最低価格は何年か前の入札をした際が一番低い価格としており、走行距離は考慮していないとの答弁がありました。

次に、西那須野支所の審査において、委員から、補正予算執行計画書の12ページ、消防団施設・設備管理費西那須野支所について、修繕料として消防ポンプ自動車334万8,000円を計上しているが、何年使用した自動車なのか。また、ポンプの補償はポンプを載せた会社に請求はできないのか伺うとの質疑があり、執行部から、10年乗った車であり、また故障の原因が明確でないため、製造メーカーに請求できないとの答弁がありました。

次に、塩原支所の審査において、委員から、補正予算執行計画書の6ページ、財産管理費塩原支所について、旧ゆっくりセンターの進入路の一部

が崩れてのり面の改修工事を行うとのことだが、この箇所のすぐ上には分団の消防詰所がある。出動のできる範囲で工事を進めるという認識でよいのか伺うとの質疑があり、執行部から通行に支障のないような形で進めたいとの答弁がありました。

次に、議会事務局の審査において、委員からは質疑はありませんでした。

以上、審査の結果、議案第60号については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものとしました。

続いて、議案第61号 令和7年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

総務部課税課の審査において、委員から、補正予算執行計画書18ページ、保険税賦課費について、今回の保険税賦課システム改修に伴い本市にどのようなメリットがあるのか伺うとの質疑があり、執行部から、子ども・子育て支援金制度創設に伴い、子育て支援金を国民健康保険税と併せて賦課徴収するためにシステム改修を行う必要があるとの答弁がありました。

以上、審査の結果、議案第61号については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものとしました。

続いて、議案第62号 令和7年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

総務部課税課の審査において、委員から、補正予算執行計画書22ページ、徴収管理費について、システム改修について国民健康保険特別会計補正予算と同様の内容であるとの説明だったが、金額が倍ほど高い理由を伺うとの質疑があり、執行部から、後期高齢者システムは全て改修されるが、国保についてはまだ制度上決まっていない部分があるため、半分程度の改修で、残りは8年度の当

初予算要求を予定しているためであるとの答弁がありました。

以上、審査の結果、議案第62号については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、当分科会において審査した案件の審査の経過と結果について報告を終わります。

次に、第2分科会における審査結果について、佐藤副委員長から報告をお願いします。

○佐藤副委員長 皆さん、こんにちは。

予算常任委員会第2分科会の審査の経過と結果について御報告をいたします。

これからは着座で報告いたします。

令和7年9月那須塩原市定例会議において、当分科会で審査した案件は、補正予算案件4件であります。

この案件を審査するため、去る9月17日から9月19日までの3日間、303会議室及び第4委員会室において、委員8名全員出席の下、所管の部長、課長等関係職員の出席を求め、慎重に審査を行いました。

以下は、その審査の経過と結果であります、報告に当たりましては、各委員から出された質疑等を中心に申し上げます。

それでは、議案第60号 令和7年度那須塩原市一般会計補正予算（第6号）について申し上げます。

まず、子ども未来部の審査について申し上げます。

子育て相談課の審査において、委員から、補正予算書10ページ、債務負担行為補正の令和7年度要支援児童放課後応援事業運営業務委託について、対象とする人数は本市で必要とするネグレクトや育児放棄等のニーズにあった数なのか、定員を20名と定める根拠について何うとの質疑があり、執

行部から、支援する児童生徒により良い支援を提供するために、適当な人数であり、支援の質を担保するものであるとの答弁がありました。

次に、保育課の審査において、委員から、補正予算執行計画書8ページ、保育園管理運営費について、令和8年度から民営化する三島保育園の土地の処分について、市有地を売却するほうがよいのか、貸与として地代を頂くほうがよいのか、との質疑があり、執行部から、売却であればまとまった処分の収入があり、有料貸与であれば長期間の収入になる。市有財産から切り離すことは、所有権が事業者となり、今後の対応は土地の所有者である事業者の判断となるため、売却が望ましいと考えているとの答弁がありました。

次に、教育委員会事務局教育部の審査について申し上げます。

教育総務課の審査において、委員から、補正予算執行計画書13ページ、スクールバス運行費について、当初の予定価格より低い価格の金額での契約について、燃料費や人件費が高騰している中、業者が価格を下げた理由について何うとの質疑があり、執行部から、スクールバスの運行費については、燃料費が上がっても耐え得る形で設定しているため、入札した結果、価格が下がったとの答弁がありました。

次に、学校教育課の審査において、委員から、補正予算執行計画書14ページ、教育相談費について、学びの多様化学校についてメタパスなどにも対応できるWi-Fi環境の整備も検討しているのか。また、教科はどのようなものを学びたい人たちが来ることを想定しているのかとの質疑があり、執行部から、Wi-Fi環境は学びを中心にタブレットを活用し、学校のレベルと同等の環境を整備する状況である。教科は、三島中学校に通う生徒と同じ教科を学ぶことを想定しておりま

す。その子に応じた学習を進めることを含め、総合的な学習の時間では、メープルやホースセラピーなどの体験を取り入れながら計画を策定しているとの答弁がありました。

次に、生涯学習課の審査において、委員から、補正予算執行計画書15ページ、田舎ランド鳴内管理運営費について、光熱水費の増額は緊急事態でお金が足りない状況なのかとの質疑があり、執行部から、夏からの酷暑で冷房の稼働が増加しており、電気料金の予算の不足が生じたとの答弁がありました。

次に、スポーツ振興課の審査において、委員から、補正予算執行計画書7ページ、地域おこし協力隊事業費、スポーツ振興課分について、地域おこし協力隊として3年を経過した協力隊員に業務委託をするのは国の制度を利用する地域おこし協力隊としての予算なのかとの質疑があり、執行部から、今回募集するのは地域おこし協力隊として3年間お願いする予定であるとの答弁がありました。

次に、保健福祉部の審査について申し上げます。健康増進課の審査において、委員から、補正予算執行計画書1ページ、保健衛生費補助金について、国からの補助金を事業推進に充てるとのことだが、事業の内容の詳細を伺うとの質疑があり、執行部から、講習会に係る消耗品費、テキスト代、調理実習の食材費や通信運搬費、郵送代であるとの答弁がありました。

次に、生活福祉課の審査において、委員から、補正予算執行計画書9ページ、生活保護総務費委託料について、国の指示による生活保護システム改修なのか伺うとの質疑があり、執行部から、厚労省からの通知に基づくシステムの改修であるとの答弁がありました。

次に、高齢福祉課の審査において、委員から、

補正予算執行計画書8ページ、高齢者自立対策・生活支援費について、配食サービスの1食当たりの値上げの金額と60万8,000円の積算根拠を伺うとの質疑があり、執行部から、50円の値上げになっており、その6か月分で計上している。1食当たり850円の内訳は主に食料費の値上げと人件費、燃料費を換算し50円値上げした1食900円の6か月分という積算根拠で、1月2,000食であり、10月1日から配食を値上げをするので、2,000食掛けると6か月で1万2,000食となるとの答弁がありました。

次に、国保年金課の審査においては、委員から特に質疑はありませんでした。

次に、社会福祉課の審査において、委員から、補正予算書10ページ、債務負担行為補正の令和7年度基幹相談支援センター業務委託について、令和8年度から1名増員することによって相談の質についても多様な機関と連携できる相談窓口として充実するのかなどの質疑があり、執行部から、障害者相談支援センターを前身として設置していたが、国の制度改正により中核的な役割を担い、現在の障害者の相談に特化することなく、事業所の支援や相談、複雑化している障害者の権利擁護なども行うことでこれまでよりも充実した内容で行うことができると考えるとの答弁がありました。

以上、審査の結果、議案第60号については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第61号 令和7年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

保健福祉部健康増進課の審査において、委員から、補正予算執行計画書18ページ、特定健康診査等事業費について、令和6年度特定健診事業の実績について伺うとの質疑があり、執行部から、申

請は8,600人で、実績は7,966人であったとの答弁がありました。

次に、国保年金課の審査においては、委員からは特に質疑はありませんでした。

以上、審査の結果、議案第61号については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第62号 令和7年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

保健福祉部国保年金課の審査において、委員から、補正予算執行計画書22ページ、後期高齢者医療広域連合納付金について、広域連合納付金の内容について何うとの質疑があり、執行部から、納付金は3月末時点で締められるものであり、広域の決算以降に入ってきたのを計上しているとの答弁がありました。

以上、審査の結果、議案第62号については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第63号 令和7年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

保健福祉部高齢福祉課の審査において、委員から、補正予算執行計画書25ページ、地域支援事業費の介護予防・生活支援事業費の第1号訪問事業について、訪問型サービスB、訪問型サービスのDは何件に対する金額かとの質疑があり、執行部から、サービスB、サービスD、それぞれ1件ずつ計上しているとの答弁がありました。

審査の結果、議案第63号については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、当分科会において審査した案件の審査の経過と結果についての報告を終わります。

○小島委員長 ありがとうございます。

次に、第3分科会における審査結果について、田村副委員長から報告をお願いします。

○田村副委員長 着座にて報告させていただきます。

予算常任委員会第3分科会の審査の経過と結果について御報告をいたします。

令和7年9月那須塩原市議会定例会議において、当分科会で審査した案件は、補正予算案件5件であります。

この案件を審査するため、去る9月17日から19日の3日間、第2委員会室及び303会議室において、委員8名出席の下、所管の部長、課長等関係職員の出席を求め、慎重に審査を行いました。

以下は、その審査の経過と結果であります。報告に当たりましては、各委員から出された質疑等を中心に申し上げます。

それでは、議案第60号 令和7年度那須塩原市一般会計補正予算（第6号）について申し上げます。

市民生活部の審査について申し上げます。

市民協働推進課の審査において、委員から、補正予算書10ページ、債務負担行為補正、令和7年度市民提案型協働のまちづくりの支援事業費について、対象は市民活動センターで頑張っている団体か、あるいは全ての市民活動を対象としているのかとの質疑があり、執行部から、市民活動センターを使用している団体に限ったものではなくて、市民活動団体がこの事業の応募要項に沿った事業として提案をしてくるものについて、審査して事業として選定をしていく事業になっているとの答弁がありました。

また委員から、具体的にどのような活動内容に対して支援の対象としているのかとの質疑があり、執行部から、きらむぎサッカーパークで実施をした天然芝のグラウンドを使った小学生のサッカー交流や、消防団の黒磯支団第1分団の講演会で実

施した消防団員の理解促進のためのカレンダー作成、黒磯那須青年会議所で行った小中学生対象の職業体験のこども体験フェスティバルといった市民活動団体が実施する活動について補助をしているとの答弁がありました。

また別の委員から、なぜ9月の補正予算で出したのかとの質疑があり、執行部から、10月に募集を開始、12月中旬を締切りに設定、1月に応援団体のプレゼンを実施、2月に来年度の事業採択というスケジュールで進めていくため、9月補正で対応したとの答弁がありました。

また別の委員から、この債務負担行為限度額の320万円について、何団体を予定しているのかとの質疑があり、執行部から、来年度の事業として10団体を予定しているとの答弁がありました。

続いて、交通防犯課の審査において、委員から特に質疑はありませんでした。

続いて、市民課の審査において、委員から、補正予算執行計画書7ページ、戸籍費について、振り仮名を戸籍に記載するための戸籍システム改修費用については、補正予算で組んでいるが、もう一方で振り仮名確認のために市民向けに発送しているのはがきの費用は当初予算で組んでいるのかとの質疑があり、執行部から、はがきの作成と作成業務委託は当初予算で計上しているとの答弁がありました。

また委員から、同じ戸籍システムに関して、改修費は補正で、はがきは当初予算の理由はとの質疑があり、執行部から、はがきは法律改正が今年5月26日に施行され、戸籍のほうに振り仮名を記載するという流れになった。戸籍が正しいかどうかの届出期間が1年間猶予があり、来年5月26日まで届出し、来年5月26日以降に一気にシステムに乗せるため、今年度中に準備しておく必要がある。そのため9月補正予算としたとの答弁があり

ました。

続いて、環境戦略部の審査について申し上げます。

カーボンニュートラル課の審査において、委員から、補正予算執行計画書1ページ、保健衛生費補助金について、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金に関し、補助対象として想定していた青木地区ゼロカーボン街区のバイオマス発電導入実現可能性調査業務委託の具体的な内容はとの質疑があり、執行部から、酪農家から出る牛糞を活用してバイオマスを発電し、自然界エネルギーで利用できるかの調査をしているが、それに当たり酪農家からの聞き取りやアンケートにより、今段階で実現可能かどうかを確かめるための調査委託であるとの答弁がありました。

続いて、サーキュラーエコノミー課の審査において、委員から特に質疑はありませんでした。

続いて、産業観光部の審査について申し上げます。

農務畜産課の審査において、委員から、補正予算執行計画書10ページ、農業振興費について、県産小麦・大豆の供給力強化事業の詳細について何うとの質疑があり、執行部から、県産小麦もしくは大豆を生産するに当たって、生産面積の拡大を行う際に導入される大豆のコンバインの機械等に対して補助が行われるものであるとの答弁がありました。

また、委員から、補助金は申請のあった者に関して行うことでよいのかとの質疑があり、執行部から、手挙げ式の補助金になっているとの答弁がありました。

委員から、補助金の申請があってから県に申請し、そのたびに補正予算を組むという考えでよいのかとの質疑があり、執行部から補正予算という場合もあれば、当初予算という場合もある。補助金の

申請のタイミングが年に何回もあり、それは国の予算執行状況による。また、農家の方も自身の機械とか規模の拡大のめどが立ち次第申請が出てくるというふうな形になっており、当初予算で計上させていただくケースもあるとの答弁がありました。

続いて、ツーリズム推進課の審査において、委員から、補正予算書10ページ、債務負担行為補正について、木の俣園地駐車場の測量はなぜ必要なのかとの質疑があり、執行部から、現在、アスファルトの駐車場があるが、さらに増設するため、今回地形を測量し、実施設計をかけて行くとの答弁がありました。

別の委員から、駐車場の計画としてどのように将来駐車場を考えていくのかとの質疑があり、執行部から、今ある舗装駐車場の1段上には砂利駐車場があり、ここに舗装をかけたいと考えている。またさらに奥に平場の土地があるので、そこまで広げたいと思っている。木の俣園地自体は人が入るキャパシティはあるので、駐車場の拡張が必要かどうかという点等も含めて、まず地形測量をし、どれぐらい広げると幾らかかるのかを把握したいと思っているとの答弁がありました。

また別の委員から、補正予算執行計画書10ページ、スポーツツーリズム推進費について、700万円の補助金の使用用途を具体的に伺うとの質疑があり、執行部から、スポーツコミッション運営の補助金で、世界陸上の事前キャンプ受入れに係る費用であるとの答弁がありました。

続いて、建設部の審査について申し上げます。

都市計画課の審査において、委員から、補正予算執行計画書11ページ、都市計画総務費について、国道4号西那須野道路の烏ヶ森公園に係る歩道橋開通式の内容について伺うとの質疑があり、執行部から、橋の上からお菓子を投げたり、大人数で

テーブルカットするなどイベント色が強く、地域に根差したものを考えているとの答弁がありました。

続いて、保全管理課の審査において、委員から、補正予算執行計画書11ページ、道の駅管理運営費について、既設施設の電気使用料54万2,000円を追加補正する理由を伺うとの質疑があり、執行部から、新しいEV充電器を設置した場合、設置者が電気料金を負担することになっているが、設置者のほうで設置が遅れているため、既存の充電器2台分の電気料金を保全管理課で支払うようにするためのものであるとの答弁がありました。

以上、審査の結果、議案第60号については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第64号 令和7年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

産業観光部ツーリズム推進課の審査において、委員から特に質疑はありませんでした。

以上、審査の結果、議案第64号については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案65号 令和7年度那須塩原市墓地事業特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

環境戦略部ネイチャーポジティブ課の審査において、委員から、補正予算執行計画書29ページ、墓地使用料に関し区画当たりの使用料20万円について、1区画当たりの大きさと20万円で永代使用できるかについて伺うとの質疑があり、執行部から、1区画4㎡の区画になっており、使用料は初めに納めていただくが、その他として年間の管理料2,000円を頂いているとの答弁がありました。

また委員から、まだ貸出し可能な区域はあるのかとの質疑があり、執行部から、塩原温泉さくら

公園墓地に空きがあり、残りが25区画であるとの答弁がありました。

また、委員から補正予算執行計画書30ページ、墓地管理基金積立金について、墓地の承継者不在問題に関する対策について何うとの質疑があり、執行部から、所有者・使用者が不明で管理されずに放置されている墓地が結構あり、それを掘り起こしてきれいにして再整備するための費用に基金を使っていきたいと考えているとの答弁がありました。

審査の結果、議案第65号については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第66号 令和7年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第2号）について申し上げます。

上下水道部管理課・整備課の審査において、委員から、補正予算説明資料1ページ、補助金について、職員児童手当分について何うとの質疑があり、執行部から、職員の給与費は水道事業会計で賄っているが、児童手当に関しては一般会計から出しているとの答弁がありました。

また、他の委員から補正予算書2ページ、債務負担行為について、上下水道料金システム、公営企業会計システム更新の9,924万について何うとの質疑があり、執行部から徴収した水道料金の記録を取り込み、それをさらに会計処理するシステムとなる。このシステム更新の中に賃借料と保守料も含まれる形となる。また、年割額でいうと1,984万8,000円となるとの答弁がありました。

委員から、補正予算書1ページ、資本金収入について、負担金の4,200万円の増について何うとの質疑があり、執行部から、市道埼玉横4号線配水管移設工事については、今年度、こちらの路線で下水道工事を予定しているものの、道路幅員が狭いため、水道管を移設した上で下水道管を入れ

る工事が必要になった。そこで、下水道事業から水道事業に負担金を支払い、水道事業で移設工事を実施し、その後、下水道工事をやるという流れで負担金を計上したとの答弁がありました。

審査の結果、議案第66号については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第67号 令和7年度那須塩原市下水道事業会計補正予算（第2号）について申し上げます。

上下水道部管理課・整備課の審査において、委員から、補正予算説明資料5ページ、委託料について、下水道の管渠点検調査に関する予算の補正があるが、管渠全体を十分に点検できるようにすることを目的とした補正ということではどうかとの質疑があり、執行部から、管渠点検については、ストックマネジメント計画において、5年間で実施すると定めていて、この点検は補助対象だったのだが補助率は100%にならず、補助の対象から外れ、点検の対象から漏れてしまったところがあった。県のほうから、この漏れた部分も点検をやるように言われ、補正で対応するものであるとの答弁がありました。

審査の結果、議案第67号については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、当分科会において審査した案件の審査の経過と結果についての報告を終わります。

○小島委員長 ありがとうございました。

以上で、各分科会における審査結果の報告が終わりましたので、これより議案の審査に入ります。

まず、議案第60号 令和7年度那須塩原市一般会計補正予算（第6号）を議題といたします。

各分科会の報告に対し、質疑をお受けいたします。

質疑はございませんか。

三本木委員。

○三本木委員 財政課の予備費で9,700万円、それで除雪費で3,000万円から4,000万っていうんだけど、それしか使っていないのに9,700万というのはこれというのは多過ぎでは。

〔発言する人あり〕

○三本木委員 そういう質疑はしたか。

○小島委員長 補正予算では、そういう質疑はなかったですね。

〔発言する人あり〕

○小島委員長 9,700万の予備費の計上で、何がお聞きしたいんですか。

○三本木委員 そういう質疑があったんですかと。

○小島委員長 財政課のほうであれですね、冬季の除雪の積算ですね。今回、除雪の費用を9,700万に設定した理由ということで、これまでの経過を実績を基にして策定したという答弁なんですけれども、それだけですね。

いいですか。

○三本木委員 はい。

○小島委員長 市からはこれまでの実際の結果を基にして今回の補正予算を立てられたという答弁がありました。

○三本木委員 分かりました。

○小島委員長 それ以外の質疑はございませんでした。

森本委員。

○森本委員 執行計画書13ページの電子黒板、タブレット端末が1,000万近く減額になっているんですけれども、これ理由に説明何かありましたか。どういう説明がありましたか。第2分科会の小中学校ICTの事業費で、どこかで説明があったかもしれないんですけれども、ちょっと記憶になくて、電子黒板、タブレット端末993万7,000円の減額があるんですね、歳出。それに対して執行部から説明というのは、どんな説明があったのか。もしあ

った場合に、そこら辺で質疑があったら、それも教えていただいて。説明なかったですか、これ。

○佐藤副委員長 説明はありましたけれども、質疑はないです。

○森本委員 どんな説明があったか教えてもらっていいですか。

○佐藤副委員長 ちょっと待ってください。

○小島委員長 資料の何ページ。

○森本委員 13ページの学校教育課の審査で、ICT事業費が993万7,000円減額になっているんですけれども、これ減額にしました理由の説明はあったのかなと、委員会の中であったのかなと思うんですけれども、どんな説明だったか教えていただければ。

○佐藤副委員長 申し訳ないですけども、13ページは分かるんですけども、何課の。

○森本委員 学校教育課です。

〔「補正予算執行計画書の14ページ」と言う人あり〕

○森本委員 13ページ。学校教育課で小中学校ICT事業費（6001）。

○小島委員長 ちょっと暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時13分

再開 午後 2時19分

○小島委員長 会議を再開いたします。

○佐藤副委員長 説明では、不用額が779万8,000円ということですよ。

〔「その下、993万7,000円」「減額補正」と言う人あり〕

○佐藤副委員長 ただ、それはもう減額補正するものですという説明しかありません。

○森本委員 それしかない。分かりました。

○佐藤副委員長 何でなんかの説明はありません。

○小島委員長 よろしいですか。

○森本委員 はい。

○小島委員長 そのほか質疑はございませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、質疑を終了し、
討論を許します。

討論はございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、討論を終結し、
採決いたします。

議案第60号 令和7年度那須塩原市一般会計補
正予算（第6号）は原案のとおり可決すべきもの
とすることに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○小島委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第60号については、原案のとおり
可決すべきものと決しました。

次に、議案第61号 令和7年度那須塩原市国民
健康保険特別会計補正予算（第1号）を議題とい
たします。

各分科会の報告について質疑をお受けいたしま
す。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 質疑はないですので、質疑を終了し、
討論を許します。

討論はございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、討論を終結し、
採決いたします。

議案第61号 令和7年度那須塩原市国民健康保
険特別会計補正予算（第1号）は原案のとおり可
決すべきものとするに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○小島委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第61号については原案のとおり可
決すべきものと決しました。

次に、議案第62号 令和7年度那須塩原市後期
高齢者医療特別会計補正予算（第1号）を議題と
いたします。

各分科会の報告に対し、質疑をお受けいたしま
す。

質疑はございませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、質疑を終了し、
討論を許します。

討論はございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、討論を終結し、
採決いたします。

議案第62号 令和7年度那須塩原市後期高齢者
医療特別会計補正予算（第1号）は原案のとおり
可決すべきものとするに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○小島委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第62号については原案のとおり可
決すべきものと決しました。

次に、議案第63号 令和7年度那須塩原市介護
保険特別会計補正予算（第1号）を議題といたし
ます。

第2分科会の報告に対し、質疑をお受けいたし
ます。

質疑はございませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、質疑を終了し、
討論を許します。

討論はございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、討論を終結し、
採決をいたします。

議案第63号 令和7年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第1号）は原案のとおり可決すべきものとすることに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○小島委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第63号については原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第64号 令和7年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

第3分科会の報告に対し、質疑をお受けいたします。

質疑はございませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 質疑はないようですので、質疑を終了し、討論を許します。

討論はございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第64号 令和7年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第1号）は原案のとおり可決すべきものとすることに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○小島委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第64号については原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第65号 令和7年度那須塩原市墓地事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

第3分科会の報告に対し、質疑をお受けいたします。

質疑ありませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、質疑を終了し、

討論を許します。

討論はございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第65号 令和7年度那須塩原市墓地事業特別会計補正予算（第1号）は原案のとおり可決すべきものとすることに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○小島委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第65号については原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第66号 令和7年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第2号）を議題といたします。

第3分科会の報告に対し、質疑をお受けいたします。

質疑はございませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、質疑を終了し、討論を許します。

討論はございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第66号 令和7年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第2号）は原案のとおり可決すべきものとすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○小島委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第66号については原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に議案第67号 令和7年度那須塩原市下水道事業会計補正予算（第2号）を議題とします。

第3分科会の報告に対し、質疑をお受けいたします。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、質疑を終了し、
討論を許します。

討論はございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 ないようですので、討論を終結し、
採決いたします。

議案第67号 令和7年度那須塩原市下水道事業
会計補正予算（第2号）は可決すべきものとする
ことに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○小島委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第67号については原案のとおり可
決すべきものと決しました。

以上で、審査事項は終了いたしました。

全体会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

閉会 午後 2時28分

—————◇—————

◎その他

○小島委員長 次に、3のその他に入ります。

その他で委員の皆様から何かございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

○小島委員長 事務局よりその他で何かございま
すか。

〔「ございません」と言う人あり〕

○小島委員長 以上で、本委員会に付託された案件
の審査が終了しました。

本委員会の審査報告書は、本職が作成し、議長
に提出いたしますので、御一任くださるようお願い
いたします。

—————◇—————

◎閉会の宣告

○小島委員長 以上をもちまして、予算常任委員会